

年頭のあいさつ

加藤弘明

新年おめでとうございませす。年明けの好天に恵まれ、会員の皆様には穏やかな正月をお過ごし頂いたこととお喜び申し上げます。

・高齢者の定義見直し？

さて、正月五日のニュースに「高齢者の定義見直しの提言」がありました。

日本老年学会と日本老年医学会が発表したもので、現在「65歳以上」とされる高齢者の定義を「75歳以上に引き上げるべきだとする、国への提言です。」

前期高齢者とされている65〜74歳は、活発な社会活動が可能な人が大多数だとして「准高齢者」に区分し、「行政は？」就労やボランティア活動ができるよう後押しし、「社会の支え手」として捉え直すべきという内容です。

背景に、10年前と比べて身体能力や知的能力が5〜10歳は若返っているとの判断があるようですが、准高齢者の就労意欲を促し、

年金受給を遅らせ税金を期待するとうような、国の苦しい年金財政の事情がある（？）とは、深読みが過ぎるでしょうか。

昨年は高齢者の自動車事故が多発しました。高速道路の逆走、発進時や制動時のペダル踏み間違い等がその原因であったことを考えると、定義変更で准高齢者がハンドルを握ることに、変な自信を抱くことが心配になります。

・准高齢者に期待

とはいえ、「社会の支え手」という視点は大いに期待したいと思えます。65〜75歳は一般的に時間的余裕と活動の体力があると思われ、そうした時間と体力を地域のために使って頂くなら、地域は大いに活性化することでしょう。

本地区部会は、恒例行事として、「カラオケ大会」(6月)、「長寿を祝う会」(9月)、「防災関連行事」(8月)、「歩こう会」(11月)、「年末餅つき大会」(12月)を実施しています。

いずれも参加して、他者と交わり、円滑な人の関係を築いて頂くことを目的としています。困ったときの助け合いはお互いが顔を知り、心が通じ合うことが基本になると考えるからです。この考え方を基盤として、もう一歩踏み出すことができれば、福祉のまちづくりが本物になると思うのです。即ち、自治会の枠を越えた地域ぐる

みの防犯・防災体制を整えたり、照明器具の交換や庭木剪定、買い物支援等の高齢世帯への簡易支援の仕組みを整えたりできれば、この大宮町に住むことの安心感が高まります。

まだ、それに向けた声も出ませんし、「そういう仕組みが整うなら手伝うよ」という申し出もありません(声掛けもしてないので当然です)が、「高齢者の定義見直し」と「社会の支え手」という視点がきっかけとなり、本地区部会の活動を飛躍させる担い手として多くの「準高齢者」が名乗りを挙げて頂けるのではないかと、都合のよい勝手な想像をしています。

ともあれ、まずは現状をしっかりと維持していくこと。それを心に留め、本年の地区部会活動を考えたいと思えます。改めまして、よろしくお願ひ申し上げます。

♪各行事、楽しく有意義に♪

・救急救命講習会

8月21日、9時〜11時、千城小体育館にて開催。大変な湿気と暑さの中、会員38名が参加。

千葉市若葉消防署の救急救命士と救急救命の所定の講座を履修したボランティア4人を講師に招き、AED(自動体外式除細動器)：心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態にな

つた心臓に、電気ショックを与えて正常に戻すための医療機器)を使用する心肺蘇生法を学びました。

街中で、家で、大切な人が意識を失い息もしていない。こんな状況には遭遇したくないですが、万が一遭遇してしまつたら、と、自ずと熱が入る研修となりました。

・長寿を祝う会

9月25日、12時30分、15時、千城小体育館にて開催。敬老会独自開催の自治会を除く5自治会(花和・下和田陸会・千城・坂尾・坊谷津)から75歳以上の高齢者をお招きし、来場頂いたのが50名。会場に敬老席が8テーブル設えられ、各テーブルにクロスが掛かり、中央に生花が飾られ、つまみが盛りられた大皿と飲み物、銘々には折り詰め赤飯とコップが置かれ、華やかな雰囲気。

第一部は式典。主催者挨拶の後、出席者に祝いの和菓子が贈呈され、来賓の千葉市社協若葉区事務所の金澤所長、秋本衆院議員、山中県議会議員、石橋・小川市議会議員から順に祝辞を頂いて第二部のお楽しみ会へ。

獅子舞とお囃子、日本舞踊、マジックシヨウ、ハワイアンダンス、講談を楽しみながら、飲み物を片手につまみや赤飯を口にし、談笑する姿に、役員一同も心を和ませた長寿を祝う会となりました。

・ふれあい歩こう会

11月27日、10時〜12時。朝の降雨で実施が危ぶまれましたが、集合時刻少し前に雨が止み、予定通り実施。参加者27名。

スタートは千城小第2グラウンド上。曇天も無風が幸いして寒くもなし。冬枯れた野の景色を眺め、それぞれの歩調でのんびり歩く。途中下長の公園で休憩し、水分糖分を補給して心が和んだのは昨年と同じ。11時過ぎにはゴールの都川水の甲公園に全員到着。皆で食べる豪華弁当の美味に感心することしきり。程よく運動した半日でした。

・餅つき大会

12月18日、10時〜13時。千城小体育館前で開催。

開始時刻の10時には参加者が会場の千城小第1グラウンドに多数集まり、10時30分には受付名簿上で90名を超え、参加者は全体で100名超えに！最高齢は92歳。未就学児を含めた子供と親世代、祖父祖母と3世代が揃う賑やかさ。つきたての餅をほおばり、トン汁を味わって、会場は笑顔がいっぱい。

餅つき大会は、もち米やトン汁食材の下処理や臼、杵、せいろ、鍋、かまど等の器材一式、さらにのし板や食器等々、大変な手間と準備が必要で、本地区部会の一大行事です。

ついたもち米は1斗5升(23キロ)。

下準備から餅つき、トン汁づくりは大奮闘していただきました下長地区をはじめとする皆様方と関係役員、大変お疲れ様でした。

☆こんな高齢者福祉事業も...

・敬老祝い和菓子のお届け
各自治会、80歳以上の高齢者がお住いの87世帯(長寿を祝う会参加者を除く)に民生委員がお届けしました。

・切り餅のお届け

各自治会、75歳以上のお一人世帯(全120)に、ささやかな年越し準備として、民生委員がお届けしました。

バス旅行実施見送りとお詫び

年度当初、11月6日実施が決まつておりました研修バス旅行を見送りしました。お詫び申し上げます。

目的地为茨城県方面に定め、業者の見積もりを取ったところ、想定を大きく超える金額でした。ハイシーズン、遠距離が理由でした。会費を少々値上げしても、質が昨年度実施の水準に届かないことが、明らかでした。

時期を違えての実施も検討したのですが、適切な見学場所も時期的な要因で定められず、見送りに至りました。

事の経緯をお知らせできず、会員の期待を裏切りましたこと、深くお詫び申しあげ、お知らせいたします。